

問1 1774年、オランダ語の解剖学書を翻訳し『解体新書』を出版した中心人物の一人は誰？

1. 大槻玄沢 2. 前野良沢 3. 平賀源内 4. 杉田玄白

問2 幕府の命を受けて樺太を調査し、島であることを確認した探検家は誰？

1. 近藤重蔵 2. 間宮林蔵 3. 伊能忠敬 4. 最上徳内

問3 江戸幕府で享保の改革を行った人物は、代々何代目の将軍？

1. 第8代将軍 2. 第3代将軍 3. 第1代将軍 4. 第15代将軍

問4 百姓一揆が頻発する背景となった、三大飢饉の名称をすべて答えなさい。

1. 元禄・宝永・正徳 2. 文政・天保・弘化 3. 享保・天明・天保 4. 安政・万延・文久

問5 異国船打払令によって、理由を問わず砲撃対象とされた存在は何？

1. 樽廻船 2. 菱垣廻船 3. 外国船 4. 北前船

問6 仏教や儒教などの外来思想の影響を受ける前の、日本固有の精神を究明する学問を何という？

1. 儒学 2. 蘭学 3. 国学 4. 朱子学

問7 江戸時代の元禄文化を代表し、『日本永代蔵』などの浮世草子で知られる人物は誰？

1. 松尾芭蕉 2. 近松門左衛門 3. 近衛前久 4. 井原西鶴

問8 江戸時代、特定の地域を治める領地を与えられ、幕府の統制下に置かれた武士を何という？

1. 大名 2. 将軍 3. 公家 4. 旗本

問9 元禄文化において、町人の生活や感情を写實的に描いた浮世草子で知られる作家は誰？

1. 近松門左衛門 2. 池大雅 3. 松尾芭蕉 4. 井原西鶴

問10 江戸時代に普及した、脱穀（だっこく）の作業を効率化するための農具を何という？

1. 唐箕 2. 備中鍬 3. 千歯こき 4. 踏車

問11 幕府がキリスト教の禁止と貿易統制のために進めた、外国との交流を制限する政策を何という？

1. 鎖国政策 2. 勘合貿易制度 3. 南蛮貿易統制 4. 長崎奉行設置

問12 葛飾北斎が『富嶽三十六景』で使用した、当時の西洋から輸入された化学染料を何という？

1. 朱 2. 群青 3. 胡粉 4. ベロ藍

問13 江戸幕府が直接支配していた領地（幕府領）は、日本全体の何パーセントを占めていた？

1. 40% 2. 15% 3. 30% 4. 24%

問14 江戸時代後半、松平定信が行った政治改革を何という？

1. 明治維新 2. 寛政の改革 3. 天保の改革 4. 享保の改革

問15 マニュファクチュアにおいて、労働者が手作業で効率的に生産するために行われた手法を何という？

1. 問屋制家内工業 2. 協業 3. 分業 4. 手工業

問16 江戸幕府が社会の安定を目的として、学問として公認し奨励した、五代将軍によって広められた思想を何という？

1. 朱子学 2. 国学 3. 古学 4. 陽明学

答え合わせ・解説

問1	答え 4 杉田玄白	杉田玄白は、前野良沢らと協力して、オランダの解剖学書『ターヘル・アナトミア』を苦勞の末に翻訳し、『解体新書』として出版しました。人体の構造が詳細に描かれたこの本は、当時の人々に西洋医学の正しさを伝えました。
問2	答え 2 間宮林蔵	間宮林蔵は、伊能忠敬の弟子として測量技術を学びました。その後、北方の調査隊に加わり、過酷な自然環境を乗り越えて調査を実施しました。彼が発見した海峡は「間宮海峡」と呼ばれ、樺太が大陸と地続きではなく島であることを地図上で証明しました。
問3	答え 1 第8代将軍	徳川吉宗は、質素儉約を奨励し、年貢の徴収方法を見直すなどの「享保の改革」を断行しました。裁判の基準を明確にし、民意を聞くための目安箱を置くなど、社会の安定と財政再建を同時に図りました。
問4	答え 3 享保・天明・天保	「享保」「天明」「天保」の飢饉は、江戸時代を代表する三大飢饉です。特に天明の飢饉では冷害が長引き、広範囲で餓死者が発生しました。米不足は価格の高騰を招き、農村では困窮した人々による百姓一揆や、都市部での打ちこわしが頻発しました。
問5	答え 3 外国船	幕府が出した「異国船打払令」の主な目的は、沿岸を監視し、やってくる外国船を武力で追い払うことです。以前は給水や燃料の補給を許していましたが、この法令では一切の接近を拒絶する姿勢が打ち出されました。
問6	答え 3 国学	国学は、日本の古典を研究することで、外来思想が入ってくる前の日本人の精神性や文化を明らかにしようとする学問です。本居宣長はその中心的人物であり、古典研究を通じて日本古来の思想や美意識を探求しました。
問7	答え 4 井原西鶴	井原西鶴は、当時の町人たちの経済的な成功や日々の喜び、悲しみなどを大衆向けに描写しました。彼の作品は、それまでの貴族や武士中心の文学とは異なり、庶民のリアリティあふれる姿を捉えたことで絶大な人気を得ました。
問8	答え 1 大名	大名は、一定以上の石高（土地の生産力）を領地として認められた武士です。彼らは領地で家臣を抱えて行政を執り行いましたが、幕府が定めた「武家諸法度」によって、城の改修や婚姻などについて厳しく制限を受けていました。
問9	答え 4 井原西鶴	井原西鶴は、浮世草子という新しいジャンルを開拓しました。代表作『日本永代蔵』などは、当時の商人の金銭感覚や町人の実生活を鋭い観察眼で描いています。彼の作品は、それまでの貴族や武士を中心とした文学とは異なり、読者である町人の共感を強く誘いました。
問10	答え 3 千歯こき	千歯こきは、多数の歯が並んだ器具に稲束を通して一度にたくさんの籾を落とすことができる農具です。それまでの「扱き箒（こきばし）」に比べて、短時間で大量の作業が可能になりました。また、同時に土を深く耕せる「備中ぐわ」なども普及し、農業生産力が大きく向上しました。
問11	答え 1 鎖国政策	幕府は日本人の海外渡航や帰国を禁止し、外国船の来航を制限する一連の政策を「鎖国」と呼びます。キリスト教を根絶するため、宗門改（しゅうもんあらため）などの制度を整備し、人々が寺院に所属していることを証明させました。
問12	答え 4 ベロ藍	ベロ藍は、フェルロ（ベルリン）で開発されたことから名付けられた化学染料で、従来の天然染料では出せなかった深みのある鮮やかな青色を表現できました。葛飾北斎はこれを用いた風景画で、それまでにない色彩表現を確立しました。
問13	答え 4 24%	幕府領は「天領」とも呼ばれ、全体の石高で約4分の1にあたる約24%を占めていました。主要な都市や鉱山が含まれており、ここから得られる年貢や鉱物資源が幕府の主要な財源となっていました。
問14	答え 2 寛政の改革	老中となった松平定信は、儉約令を出して支出を抑えるとともに、都市へ流出した農民を強制的に帰郷させる「人返し」の法を施行しました。また、朱子学以外の学問を制限する寛政異学の禁なども行い、幕府の権威を回復しようしました。
問15	答え 3 分業	マニファクチュア（工場制手工業）では、資本家が工場を作り、多くの労働者を集めました。一人の作業者が全工程を行うのではなく、作業を細かく分けて分業させることで、効率よく大量の製品を生産することが可能になりました。
問16	答え 1 朱子学	五代将軍徳川綱吉が特に好んだことで、武士の教養として欠かせないものとなりました。幕府は昌平坂学問所を整備し、ここを拠点に朱子学を教授しました。主従関係や家族の礼儀を説く内容は、幕藩体制を正当化する思想として都合が良かったのです。